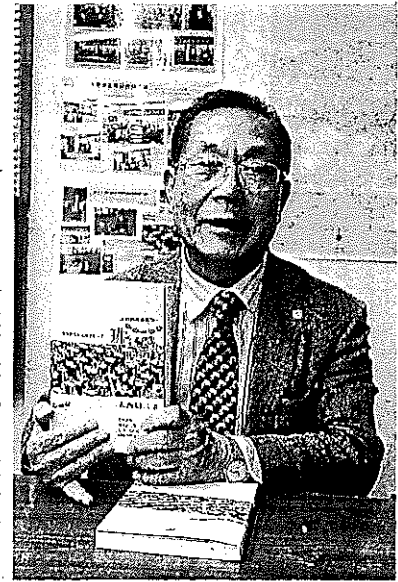


「珠算教室の教育者として成長したい」と話す大西さん



指導50年、経験凝縮

「珠の響き」を出版

珠算協会 門真大西 守口門真珠算協会 会長

経営学部を卒業後、浪商高校の教諭として24年間にわたってそろばんをはじめ商業科全般を教えた。それと並行して守口と門真の両市内でそろばん塾を経営。大阪珠算研究所長、大阪山本速算会会長、一般社団法人日本珠算連盟監事として珠算教育の振興に寄与してきた。

今回の著書は守口門真珠算協会が毎月発行している「守門通信」の「今月の言葉」の欄に大西さんが20数年間にわたって塾経営する上での「教室運営」「指導者心得」「生徒への対応」「組織への協力」などの提言をまとめた。「教室運営」では管理・記録・工夫・計画・交流を「カキクケコ」での教室運営と提言し、さらに生徒・保護者との対話を大切にしようとし、人間関係を築くことの大切さを述べている。

さらに、常に新しいメニューを設定し結果を急がず、見守ることの大切を提言している。「指導者心得」では誠心誠意の生徒指導、感性を磨く努力、個人差を認めての指導を説いている。そして、「生徒への対応」については指導者は一人一人の生徒に温かいプラス思考の言葉をかけることを、「組織への協力」については教室での良い情報を珠算仲間にも報告し合い、珠算の研さんに努め推進を図ることを呼びかけている。

大西さんは「そろばん学習が集中力・創造力を養い、脳を活性化するなど学校教育現場でもそろばん学習が評価されるようになりました。本書が珠算教育の振興と生徒育成のために役立てば幸いです」と話している。また、大阪珠算協会、森友建会長も「本書は珠算教育哲学書ともいえ、大いに役立つと思ふ」と推薦の言葉を寄せている。

発行はツーンネット、A5判250頁、定価1500円(税込み)。問い合わせは電話0532(64)2361。

珠算塾指導50年の守口門真珠算協会会長、大西信一さん(75)が珠算指導者概論「珠の響き」を出版した。急速にICT(情報通信技術)教育が浸透する中、典型的なアナログ文化である珠算の教育的な効用も紹介しながら珠算教育の振興を願った好著だ。

大西さんは立命館大